

NESラボステーション

(立正大学法学部 社会学・教育学ゼミナール) 東京都
活動期間：8年

大学生と小学生の持続可能な食育の発展につなげるZ世代の「食と農」教育プロジェクト

「これからのわたしたちの食と農業」を学ぶ フィールドワーク

大学生たちは「東京の食を支える人材の育成」(東京都教育ビジョン)を目標に、オリジナルの教育内容やプレゼンテーションを考案・企画するため、実際に農家や食に関連する事業者を訪問し、フィールドワークを通じて深く学びます。



オリーブ栽培とエコ堆肥の学習



キャベツの収穫を体験



りんごの収穫、葉摘を体験



りんごの深い話に
興味津々の大学生

大学生が考案する授業 「未来の“食と農”を考えよう！」

研究調査で得た知識や成果を「教える」ことは、教育研究の重要な一環です。大学生たちは、実際に学んだ内容を授業やプレゼンテーションなどの「教育の場」を通じて他者に伝えることを大切にしています。この過程を通じて、大学生たちは知識を深め、学びを共有することでさらなる成長を遂げます。特に、Z世代が未来にわたって「食と農」を自分ごととして関心を持ち続け、その意識を次世代に引き継ぐことは大学生たちにとっての大きな目標です。このような活動を通じて、大学生たちは地域の課題に対する意識を高め、将来のリーダーとしての役割を果たすために必要なスキルと知識を磨いていきます。



大学生が企画した授業に
子どもたちは熱心に参加



クイズ形式での実施



プレゼン授業

Z世代と考える「食育の推進」を広める 大学生たちによるアウトリーチ活動

アウトリーチとは、イベントや小中学生向けの出張授業、Webサイトでの情報発信などを通じて、広く国民に食と農への興味・関心を喚起する活動のことです。大学生たちは、フィールドワークや教育を通じて得た知識や思いを世代を超えて多くの人々に伝え、食育推進の活動を行っています。



食育フェア
@代々木公園での発表



ポスター展示や販売、
体験エリアの出店



この度は「消費・安全局長賞」という素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。私たちNESラボステーションは、普段農家さんの元へ足を運び、自らの学びを深めるだけでなく、小学生に伝え一緒に考える活動を行っています。また、食に関するイベントにも積極的に参加しています。今回、このような私たちの活動を評価していただき、大変嬉しく思っております。今後も農家さんと皆さまをつなぐ架け橋となり、食や農について考える輪を広めていけるよう、活動を継続してまいります。

NESラボステーション(立正大学法学部・西谷ゼミ) 一同